

【報道関係者各位】

2026年5月29日

2025年は保育園の倒産が過去最多…保育業界は「量」から「質」のフェーズへ 園児・人材・資金の“3つの不足”時代の「選ばれる園づくり」を考えるセミナー開催 ～「すくすくOisix」など独自ソリューションサービスを提供する6社共催（7/14、15）～

食品のサブスクリプションサービスを提供するオイシックス・ラ・大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平、以下 当社）が展開する、保育園・幼稚園などの保育施設向け給食サービス「すくすくOisix」は、保育業界の多様な課題に独自のソリューションサービスを提供する5社と共同で、保育施設関係者を対象にした「園児減少 × 人材不足時代の園づくりヒント集 保育支援事業者共催セミナー 2026」を2026年7月14日（火）、15日（水）にオンライン開催します。昨年に続き2回目の開催で、今回はサービスの利用園にもご登壇いただき、リアルな声を共有することで、保育施設が抱える課題解決に向けたヒントを、より実践的に提供します。

申し込みURL：https://go.tebura-touen.com/20260714-15seminar?form_cognitive_pathway=oisix

保育施設・保育関係者向けセミナー

園児減少 × 人材不足時代の 園づくりヒント集

参加費
無料

令和8年度の業界動向 と、
園運営の質を高める実践事例 を2日間で学ぶ

2026
7/14 火 15 水 Zoom開催
13:00～16:30

■ 2025年は保育園の倒産が過去最多を更新 保育業界は「量」から「質」への転換点に

近年、少子化などを背景に待機児童の解消が進む一方で、保育業界では定員割れや園の閉鎖リスクといった新たな課題が顕在化しています。実際に、2025年の保育運営事業者の倒産件数は過去最多を更新したほか、業績が悪化している事業者も4割を超えており（※）、園運営を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。

こうしたことを背景に、保育業界は、受け皿確保を目的とした「量」重視のフェーズから「質」で選ばれるフェーズへと移行しつつあります。さらに、今年度から全国展開される「こども誰でも通園制度」により、これまで園を利用していなかった家庭との新たな接点も生まれることから、保護者にとっての体験価値や園選びにおける印象形成の重要性は、今後さらに高まると考えられます。一方で、保育士不足や現場負担の課題は依然として続いており、限られた人員の中で保育の質を維持・向上させるためには、業務効率化や外部サービスの活用も重要なテーマとなっています。

（※）出典：帝国データバンク「保育園」の倒産・休廃業解散動向（2025年）

https://www.tdb.co.jp/report/industry/20260215_kindergarten25y/

■ 給食、DXなど独自のソリューションを提供する6社が共催 利用園も登壇し、より実践的なヒントを共有

当社では2015年より、保育施設向け給食サービス「すくすくOisix」を展開し、保育園給食の食材調達や調理業務の負荷軽減などを通じて、現場課題の解決を支援してまいりました。現在では、全国1,300以上の保育施設に導入いただいています（2026年3月時点）。

本セミナーでは、保育業界の多様な課題に対し独自のソリューションを提供する6社が集結。昨年の第1回開催時には、全国の保育事業者など約300名が参加し、「内容が濃く、知りたい情報がたくさんあった」「様々な方面から話を聞くことができ勉強になった」といった声が寄せられました。

第2回となる今回は「園児不足」「人材不足」「資金不足」という“3つの不足”に着目。給食・食育、人材、DX、保護者支援、防災など、各分野で保育現場を支援する6社が登壇し、保育業界の最新動向と、園運営の質を高める実践事例を紹介し、また、今回は新たな取り組みとして、実際にサービスを導入している利用園にもご登壇いただき、各ソリューションの活用方法や、運営改善につながった事例などを共有します。サービス提供側だけでなく利用園のリアルな声を交えることで、保育施設が抱える課題解決に向けたヒントを、より実践的に提供します。

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：松田

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）

<共催企業(50音順)>

- 株式会社アスカ: 慢性的な人手不足の解決に貢献する保育専門の人材サービス
- オイシックス・ラ・大地株式会社: 保育施設向け給食サービス「すくすくOisix」を通じて、食材費高騰や調理業務の負担軽減といった課題を解決
- 株式会社カタグルマ: 職員の業務負担を軽減するSaaSにより業務効率化を支援
- GMOエンパイ株式会社: 集金業務のキャッシュレス化・DXを支援するサービスを提供
- 株式会社ニシハタシステム: 安全・安心な保育環境を実現する防災機器を提供
- BABY JOB株式会社: おむつの定額制サービスで、保育現場と保護者の負担を軽減

<セミナー概要>

- タイトル: 保育支援事業者共催セミナー2026
園児減少 × 人材不足時代の園づくりヒント集
～ 令和8年度の業界動向と、園運営の質を高める実践事例を2日間で学ぶ～
- 開催日時: 2026年7月14日(火)、15日(水) 13:00~16:00
- 開催形式: オンライン配信 (Zoom ウェビナー)
- 申し込みURL: https://go.tebura-touen.com/20260714-15seminar?form_cognitive_pathway=oisix

保育施設向け給食サービス「すくすくOisix」について

2015年7月にらでいっしゅぼーや株式会社の事業としてスタート(同社は2018年に当社と経営統合をしています)した、当社の安心・安全な食材を保育施設で利用いただくサービスです。当サービスは安心・安全な食材をお届けするだけでなく、栄養士による献立の作成や栄養相談、オリジナルの食育プログラムといったサービスを提供することで、保育施設側の負担を軽くし、充実した施設運営を実施し、食を楽しんでもらうためのサポートを行なっています。

URL: <https://sukusukuoisix.oisixradaichi.co.jp/>

すくすくOisix

オイシックス・ラ・大地株式会社について

オイシックス・ラ・大地株式会社は、「Oisix」「らでいっしゅぼーや」「大地を守る会」の国内主要ブランドを通じ、安心・安全に配慮した農産物、ミールキットなどの定期宅配サービスを提供しています。子会社に、事業所、学校などで給食事業を展開する「シダックスコントラクトフードサービス」、病院、高齢者施設、保育園、幼稚園などで給食事業を展開する「シダックスフードサービス」、買い物困難者向け移動スーパー「とくし丸」、米国でプラントベース食材のミールキットを展開する「Purple Carrot」などがあり、食の社会課題を解決するサービスを広げています。また、「サステナブルリテール」(持続可能型小売業)としてSDGsに取り組み、サブスクリプションモデルによる受注予測や、ふぞろい品の積極活用、家庭での食品廃棄が削減できるミールキットなどを通じ、畑から食卓まで、サプライチェーン全体でフードロスゼロを目指しています。

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報: 松田

TEL: 050-5305-0549 (直通) E-mail: publicity@oisixradaichi.co.jp

(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)